

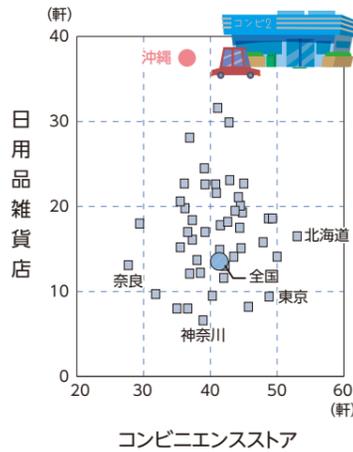
日用品雑貨店の軒数

37.5軒

(2014年2月・人口10万人当たり)

野菜・総菜・お菓子・文房具や、夏には浮き輪・水中メガネまでの品揃えがある沖縄の“まちゃーぐわー（日用品雑貨店）”。各地域の生活を支え、コミュニティ情報を発信する役割を担ってきた。近年は、郊外の大型スーパーやコンビニエンスストアの増加で、全国的にみると、日用品雑貨店の軒数は減少しているようだ。

NTTタウンページの「iタウンページ」で県内に所在する日用品雑貨店を検索すると518軒がヒットする。人口10万人当たりでは37.5軒で、全国1位。それに対して、コンビニエンスストアは509軒で、人口10万人当たりでは36.8軒。コンビニ並みの件数が登録されており、“まちゃーぐわー”が県内のコミュニティに根付いていることがうかがえる。たまには“まちゃーぐわー”でゆんたくしながら買い物されていかげらうか。新たな発見があるかも…？ (海邦総研・安田ひろみ)



エコツアーの数

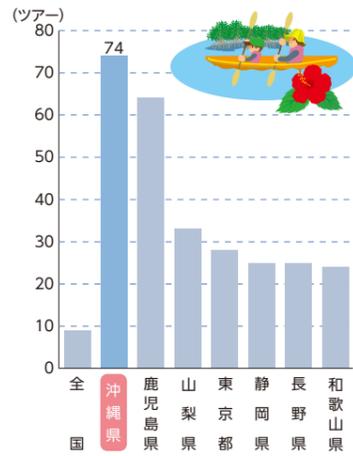
74ツアー

(2014年3月4日時点)

自然豊かな沖縄では、トレッキングやシーカヤックなど、様々なエコツアーが実施されている。エコツアーとは、自然や文化などの地域固有の魅力を伝え、その価値や大切さを理解してもらうことで保全につなげていくことを目指す仕組みのこと。最近では、自然に親しみながら学びたいという中高年の注目度も高いようだ。

NPO法人日本エコツーリズム協会の「エコツアー総覧」と「グッドエコツアー」をもとに都道府県別のエコツアー数を集計すると、沖縄県は74ツアー。これは全国1位のツアー数となっている。

今年、慶良間諸島が国立公園に指定されたこともあり、さらに沖縄の豊かな自然に興味を持つ人が増えるだろう。エコツアーを通して人と自然との関わりを深めることで、環境や文化の保全に対する意識がさらに高まることを期待したい。(海邦総研・新里治史)



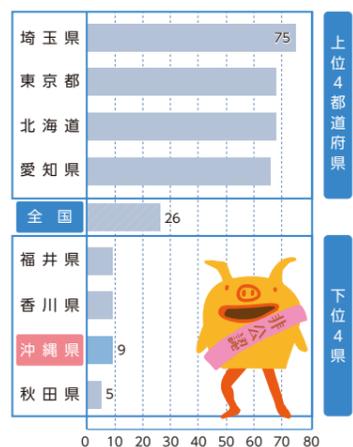
ゆるキャラ数

9体

(2013年)

今やニュースやイベントなどいたる所でみかけるようになり、外交にまで顔を出すようになった「ゆるキャラ」。ゆるキャラとは地域のイベントや町おこし、地元の名産品等のPRをするのが目的のキャラクターである。現在、企業キャラクターも含めると全国で1500体以上が存在するといわれている。

ゆるキャラグランプリ実行委員会が主催している「ゆるキャラグランプリ2013」によると、沖縄県の申込数は9体と全国で2番目に少ない。企業コラボによる商品販売により、結果的には地元の間接的なPRとなり数百億円の経済波及効果をもたらしたゆるキャラも存在する。その点では沖縄はまだまだ遅れをとっているようだ。沖縄でも、地元に基づいたゆるキャラの誕生を契機に、町自体が盛り上がり、地域振興の足掛かりとなることを期待したい。(海邦総研・湧川竜也)



アクセサリーショップ軒数

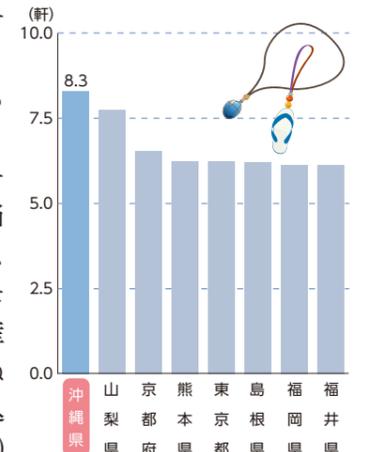
8.3軒

(2014年3月・人口10万人当たり)

国際通りを歩けば、数多くある土産品店と共に、小物を扱うアクセサリーショップもよく目にするようになった。

沖縄らしいモチーフをあしらったコンパクトなアクセサリーは値段も手ごろでかさばらないことから、沖縄土産に最適なのかも。

NTTタウンページの「iタウンページ」で県内に所在するアクセサリーショップを検索すると117軒が登録されている。これは人口10万人当たりでは8.3軒で、全国1位だ。アクセサリーとは装飾品のことだが、衣服を引き立てることはもちろん、ハンドメイドでオリジナルな一点モノを作るといった楽しみもある。物が溢れる世の中で、少量多品種生産に向けたハンドメイドアクセサリーは今密かなブームらしい。まだ見ぬ自分好みのアクセサリーを探しに、今日も多くの人がお店の中に吸い込まれていく？ (海邦総研・比嘉明彦)



ホテルの軒数

0.16軒

(2012年度/1km²当たり)

沖縄の昨年の入域観光客数は過去最高を記録した。新規航空路線の開設も相次ぐなど今後も視界は良好だ。これに呼応するかのようホテルの新設も増えてきた。

厚生労働省「衛生行政報告例」によると、県内のホテル数は360軒。1平方キロメートルあたり0.16軒で、東京、大阪といった大都市に次ぐ全国3位の数をほこる。地方圏には珍しくホテルの多い地域だ。

特にこの10年は、シティホテルに比べても宿泊料金が安い宿泊特化型やビジネスホテルの建設が増えた。さらに県外・外国資本の進出も拍車をかけ、観光客数が増えている割に稼働率が上がらないという状況が続いているようだ。最近では、宿泊するだけでなく、温泉やエステなどの癒しを重視したホテルも増えつつある。県内在住者も、たまには生活圏から離れた土地で、ホテルライフを楽しんでみてはいかがだろうか。(海邦総研・宮平杏奈)

順位	都道府県	軒数	1km ² あたり軒数
1位	東京	684	0.36
2位	大阪	359	0.19
3位	沖縄	360	0.16
4位	神奈川	335	0.14
5位	埼玉	367	0.10
6位	福岡	378	0.08
7位	香川	131	0.07
8位	愛知	294	0.06
	全国		0.03

「おきなわデータ算歩 庶民のけーざい100」伊波 貢 沖縄タイムス社

「データ算歩」は県内でよく話題になる事柄を具体的に数字で裏付けて紹介しようと試みたもので、経済・数字の世界をまさに算（散）歩感覚で楽しみましょうという内容です。

「食生活」「生活・消費」「産業」「住環境」など八項目に分類。漫画やグラフを使い、見開き2ページで1項目を説明しています。アイスクリームやビールの購入額が全国一低いなど意外と思える数字も紹介。読みたい項目から読めるよう工夫しています。

沖縄県内各書店やインターネットでもご購入いただけます。沖縄けーざいを易しく知りたい、興味のある、という方に特にお勧め！

<http://www.kaiho-ri.jp>

